

令和元年度(2019年度)

管理事業名	シティブロモーション事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 3 施策 1	都市魅力 市民が愛着をもてるまちづくり 魅力の向上と発信
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 7	商工費	(項) 1	商工費	(目) 2	商工振興費
部局名	都市魅力部 総務部		予算執行所属	シティブロモーション推進室・秘書課			
予算大事業名	シティブロモーション事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)シティブロモーション費 一般事務事業、シティブロモーション事業				
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展するために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施します。 <b>【概要】</b> シティブロモーション事業(市民にとって市への愛着や誇りが醸成される取組を実施) 「地方の時代」映像祭支援事業(本市で開催される全国規模で唯一のドキュメンタリー映像祭を支援) 市制施行80周年記念事業(令和2年度に本市が市制施行80周年を迎えるにあたり、市民にとって市への愛着や誇りが醸成される取組を実施) 吹田まつり補助事業(市民相互の交流や親睦を図ることを目的とした、市民主体による吹田まつりへの補助を実施) 観光企画推進事業(地域経済の活性化を目的として、地域の特性を生かした観光施策を実施) 情報発信プラザ事業(市の情報発信施設「吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)」の管理運営)							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
吹田まつり協賛、協力団体数	件 (延べ)	535	561	560	吹田まつりへの協賛、協力団体数(目標件数:前年度以上)
SNSによる情報発信回数	回	182	458	374	①すいたんSNS(ツイッター・フェイスブック)及び②市公式インスタグラム発信回数 目標件数:①は市役所閉庁日を除く毎日発信、②は週2回
成果の説明	吹田まつりへの協賛、協力団体数は前年の件数を下回りましたが、前年と同等数協賛、協力いただき、一定の成果がありました。 SNSによる情報発信については、目標の発信件数を超えることができました。フォロワーも、ツイッター11,666人、フェイスブック2,690人、インスタグラム1,763人(いずれも令和2年3月末時点)で、増加し続けています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,483	3,447	3,231	△216
経常収入 小計(a)	2,483	3,447	3,231	△216
給与関係費	75,750	90,518	110,230	19,712
物件費	28,450	32,374	37,218	4,845
維持補修費	-	77	39	△38
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	15,018	15,024	34,671	19,647
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,032	1,032	1,032	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,639	7,184	8,646	1,463
退職手当引当金繰入額	11,187	20,366	15,951	△4,416
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	137,076	166,574	207,786	41,212
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△134,593	△163,127	△204,556	△41,429
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△134,593	△163,127	△204,556	△41,429
一般財源充当額	127,741	147,913	193,744	45,831
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△6,852	△15,214	△10,812	4,402

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	市制施行80周年記念事業に従事する職員2.5人増員(秘書課0.5人分を含む)による増加
物件費	シティブロモーション専用ホームページ作成委託料(2,640千円)の他、市制施行80周年の記念誌作成委託料(3,817千円)や式典記念品購入費(2,054千円)等による増加
負担金・補助金・交付金等	市制施行80周年記念事業補助金(15,624千円)や吹田まつり第50回開催に伴う拡充分(2,000千円)等による増加

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,483	3,447	3,231	△216
行政サービス活動支出	130,224	151,360	196,974	45,614
行政サービス活動収支差額	△127,741	△147,913	△193,744	△45,831
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△127,741	△147,913	△193,744	△45,831
一般財源充当額	127,741	147,913	193,744	45,831
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
情報発信プラザ(Inforestすいた)来訪者1人あたりのコスト	平成29年度	395,393 人	62 円	情報発信プラザ(Inforestすいた)来訪者1人当たり94円のコストがかかっています(経常経費のうち情報発信プラザに関する経費25,381千円を実績で割って算出しています。)。消費税増税による経費増加、コロナ禍等による来訪者減少により、コストが増加したものです。
	平成30年度	413,818 人	60 円	
	令和元年度	270,037 人	94 円	
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	371 円	令和2年3月31日現在の吹田市人口で算出しました。主に市制施行80周年記念事業による給与関係費、物件費、負担金・補助金・交付金等の増加のため、市民1人あたりのコストが増加しました。
	平成30年度	371,030 人	449 円	
	令和元年度	373,987 人	556 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	7,184	8,646	1,463
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,184	8,646	1,463
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	6,795	5,763	△1,032	固定負債	73,673	81,990	8,317
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	6,795	5,763	△1,032	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	73,673	81,990	8,317
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	200	200	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	80,857	90,636	9,780
有形固定資産	-	-	-	純資産	△73,861	△84,673	△10,812
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
固定資産	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	6,995	5,963	△1,032
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	6,995	5,963	△1,032
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

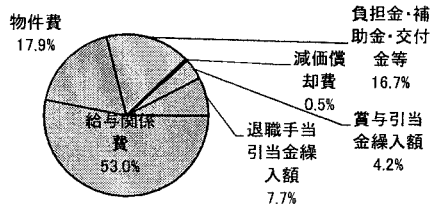
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事証日数	実人数	
	13.17 人	1 人	239 日	8 人	134,826
給与関係費等	127,378 千円	3,731 千円	3,717 千円		
内、時間外勤務手当	8,417 千円				

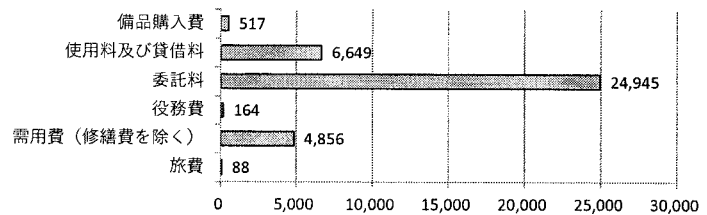
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	情報発信プラザ(Inforestすいた)内の工作物の減価償却による1,032千円の減
無形固定資産	すいたに係る著作権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	情報発信プラザ(Inforestすいた)
取得年月日	平成27年(2015年)10月1日
建物・工作物の取得価額	10,322 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,559 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	
施設維持補修費比率	-	0.7	0.4	△0.3
施設老朽化比率	24.2	34.2	44.2	10.0
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	98.1	97.7	98.4	0.7
経常費用対公共資産比率	1328.0	1613.8	2013.1	399.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

IV 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が110,230千円(53.0%)、物件費が37,218千円(17.9%)、負担金・補助金・交付金等が34,671千円(16.7%)、退職手当引当金繰入額15,951千円(7.7%)、賞与引当金繰入額8,646千円(4.2%)です。  
給与関係費19,712千円の増加につきましては、市制施行80周年記念事業のために、職員を2.5人増員したことによるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

シティプロモーション事業は、シティプロモーション推進室だけで実施できるものではなく、各室課それぞれの特性を生かした庁内横断的な取組や、市民から魅力が広がる仕掛けづくりが必要です。各室課の魅力的な取組に関わることや、市民と一緒にシティプロモーションを考える仕掛けを積極的に推進していきます。また、市への愛着が増すようなグッズの販売について、財源確保とのバランスを考慮しながら検討していきます。  
吹田まつりにつきましては、熱中症対策や会場の狭隘化、運営スペースの確保等課題を解消し、より魅力的な市民まつりになるよう検討を進めてまいります。  
情報発信プラザ(Inforestすいた)につきましては、鉄道事業者、ガンバ大阪、大学等との魅力ある連携企画を引き続き実施し、来訪者数の増加に努めていきます。